

第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会会議録

- 1 会議の名称 第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会
- 2 開催日時 令和4年11月29日（火） 15時30分～16時35分
- 3 開催場所 水戸市役所本庁舎4階 中会議室1～3
- 4 出席した者の氏名
別紙「出席者名簿」のとおり
- 5 議 事
 - (1) いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンについて
 - (2) 本ビジョンに基づく「ICTを活用した健康づくり事業」における令和4年度の取組について
 - ア 健康づくりに関するアンケート調査の結果について
 - イ 茨城県央地域ウエルネス推進協議会について
- 6 会議資料の名称
 - 第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会 会議次第
 - 資料1 茨城県央地域ウエルネス推進協議会委員名簿
 - 資料2 茨城県央地域ウエルネス推進協議会設置要項
 - 資料3 いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンについて
 - 資料4 健康づくりに関するアンケート調査の結果について
 - 資料5 茨城県央地域ウエルネス推進協議会について
 - 参考資料 健康づくりに関するアンケート調査のクロス集計について
- 7 発言の内容
 - 【執行機関】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会を開催いたします。本日は、御多用の折にもかかわらず、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
本日は初めての会合でございますので、会長が選任されるまでの間、事務局で進行させていただきます。申し遅れましたが、私は水戸市地域保健課長の____と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それではまず初めに、連携中枢都市圏の取組を進め、県央地域首長懇話会の座長を務めます、高橋靖水戸市長よりご挨拶を申し上げます。
 - 【高橋市長】 県央地域首長懇話会の座長を務めさせていただいております水戸市長の高橋でございます。第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会第1回会議を開催させて

いただきましたところ、皆様方には大変ご多用中にもかかわらず、ご出席をいただき心から御礼感謝を申し上げます。また、委員をお引き受けいただきましたことにも、併せて感謝を申し上げる次第でございます。皆様方には、日頃からそれぞれの地域、市町村におきまして、健康増進、安心安全な地域づくりに大変なるご尽力をいただいておりますことにも、心から敬意を表する次第でございます。

私ども県央地域首長懇話会は9自治体が連携をさせていただいて、県央地域の振興発展のため、例えば、広域観光の連携や、福祉の向上でありますとか、それから医療提供体制の充実など、様々な取組を行ってきました。平成20年から、もう10年以上前ですけれども、平成20年に結成をして、こういった連携・協力をさせていただいたところであります。平成29年度からは、定住自立圏の取組を行ってきまして、2020年の令和2年に、水戸市が中核市に移行をいたしまして、今度は定住自立圏ではなくて、さらにレベルがアップする連携中枢都市圏の取組ができるようになります。事業の幅も広がりますし、国からの補助金等も飛躍的に上がるという取組です。水戸市が2020年に中核市移行したということで、この定住自立圏から連携中枢都市圏に移行して、そして今年度から事業を始めたわけであります。

その事業を始めるにあたりましては、連携中枢都市圏ビジョンというものを策定します。そしてそのビジョンの中に、今回この「ICTを活用した健康づくり事業」というものを盛り込ませていただいたところであります。まさにこの健康とICTこの2つとも、ある意味成長産業だというふうに思っています。その成長産業をいかに私たちが行政としてしっかり取り込んでいくかで、民間の方々と連携をしながら、そういった技術を市民の健康増進につなげていくかということ、非常にこれが大切なんだろうと思っています。ただ私たちが旗振り役はやるものの、民間の皆様方に協力をしていただけませんと、このような事業は進まないということでございます。そのため、このような推進協議会を設置させていただいて、皆様からまさに市民目線で、様々な意見やあるいはご自分でいろいろ経験して得た知識であるとか、そういったものを行政の方へお届けいただければという思いで、この協議会を設置させていただいたところでございます。

もう3年近くコロナの対策をやってきました、改めて健康が一番だなんていうことを思いました。よく高齢者は重症率が高いとか、あるいは基礎疾患を持っている人はワクチン打ちましょうとやります。実は私もちょっと基礎疾患持っています、長らく血圧の薬についてもう15年ぐらい飲んでいのですけれども、私はもう5回目のワクチンを先日打ってきました。基礎疾患がなければ4回以内ですね。まだ私、57歳ですから。やっぱり健康ならば、やらなくていいものを健康じゃないからやってきたわけです。ずっとこの対策をやってきました、元々健康であるならば、コロナに罹っても重症化しないし、もちろん全くしないわけではないのですけれども、基礎的な健康があれば、いろんなウイルスにかかってもあるいは他の病気にかかっても、はねのける免疫力があるのだなんていうことを改めて私たちも実感させられました。

やはりそういった健康というものが人々の大きなニーズになってきております。水戸市も 2020 年に中核市に移行した時に、「元気な明日を目指す健康都市宣言」という都市宣言を行いまして、本当はコロナがなければ地域に入って、市民センターだとか、そういうそれぞれの地域の場所で健康に関わる施策、いろんなアプローチがあります。医療であるとか、それからもちろん介護であるとか、そういう福祉的なアプローチばかりじゃなくて、スポーツだとか、それから生涯学習だとか、あるいは芸術文化だとか、そういうことにも親しんでもらいながら、健康増進を図っていく。そういったこともどんどんやっていこうというふうに思っていたのですが、コロナでなかなかできていないという状況がございます。

いよいよですね、コロナも落ち着いてはいないのですが、終息はしてないのですが、人々のマインド・考え方が変わってきたというところで、そういった健康増進施策をどんどん始めていこうとことを思っています。そういった中で、今回この連携中枢都市圏という新しい取組の中で、しかもこの ICT を活用した健康増進事業ということを位置付けさせていただきましたので、これからの健康という市民のニーズ、そしてこの ICT というその技術をしっかり取り入れるという、2 つのこの時代の流れをしっかりと受けとめていきたい。そういう思いで、この事業を実施させていただきたいというふうに思っております。

ぜひ皆様方には、これをよりよいものとして、しっかり制度化させていくために、忌憚ないご意見をいただければありがたいなというふうに思っております。そして皆様方の健康増進、人々の暮らしの安心安全につなげていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げまして、私からの御礼の挨拶とさせていただきますと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【執行機関】 続きまして委嘱状の交付に移らせていただきます。本日は時間の都合上、茨城県央地域ウエルネス推進協議会委員を代表しまして、____様に委嘱状交付を行わせていただきます。____様、恐れ入りますが前の方にご移動をお願いいたします。

(委嘱状交付)

【執行機関】 ありがとうございます。恐れ入りますが、他の委員の皆様には委嘱状を皆様のお手元に置かせていただいておりますので、ご確認いただきたいと存じます。また、委員の任期は本日から 2 年となりますので、よろしくお願いいたします。ここで、高橋市長は、次の公務があるため退席させていただきます。

次に、本日ご出席の委員の皆様方を、資料 1 の委員名簿順にご紹介させていただきます。資料 1 をご用意ください。

(委員及び事務局の紹介)

続きまして、資料 2 の茨城県央地域ウエルネス推進協議会の設置要項について、

事務局よりご説明申し上げます。

(事務局「資料2」説明)

ただいま、協議会の設置要項について説明させていただきましたが、ご質問等ございますでしょうか。

(意見・質問等なし)

【執行機関】 それでは次に移らせていただきます。次第5の、会長、副会長選出に移らせていただきます。ただいま説明いたしました、協議会設置要項第五条第1項の規定では、協議会に会長と副会長を置くことになっておりますが、いかがいたしましょうか。

(事務局一任の声あり)

【執行機関】 では事務局一任というお声がありましたので、ご提案をさせていただきます。事務局といたしましては、会長を茨城大学の____教授に、副会長を常磐大学の教授にお願いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

【執行機関】 ありがとうございます。それでは、委員の皆様にご了承いただきましたので、会長は____委員、副会長は____委員ということで決定させていただきます。____委員、____委員にはそれぞれ会長、副会長の席の方にご移動をお願いいたします。
それでは、____会長、____副会長からごあいさつを頂戴したいと存じます。初めに、____会長よりお願いいたします。

【会 長】 この度は、このようなそうそうたるメンバーの中で、私が会長ということで、本当に僭越ではございますけれども、精一杯務めさせていただきます。力不足なのは承知の上で、ぜひ皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。

【副 会 長】 副会長を務めさせていただきます____です。会長をサポートさせていただきますながら、皆さんと一緒にこの会、まさに第1回スタートになりますので、良い成果を出せるように頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【執行機関】 ありがとうございます。それでは次第6の議事に移らせていただきます。ここからは、協議会設置要項第6条第1項の規定によりまして、進行役の議長を____会長にお願いしたいと存じます。____会長、よろしくお願いいたします。

【会 長】 それではよろしくお願いいたします。それでは議事に早速入らせていただきます。次第6の議事「(1) いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンについて」、資

料3になります。事務局より説明をお願いいたします。

(事務局「資料3 いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンについて」説明)

【会長】 ご質問ご意見をいただく前に、今回の議事録の署名委員を指名させていただきます。会議終了後に議事録を作成いたしますが、その署名人といたしまして、____委員、____委員のお二人を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、今回の「資料3 いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンについて」ご質問、ご意見のある委員はいらっしゃらないでしょうか。いかがでしょうか。

それでは、私の方からよろしいでしょうか。3ページの一番最後の3(5)になりますけれども、成果指標といたしまして、現状値がありまして目標値、ということで、2件という数字がありますけれども、この妥当性といえますか、これについてはいかがでしょうか。

【執行機関】 事業期間が5年間の中で、社会実験を累計で2件やるということで、2年度に1回位程度のペースで社会実験をすると考えております。

【会長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいですか。またお気づきの点がございましたら、また後程ご質問ご意見いただければと思います。

それでは次に、議事「(2) 本ビジョンに基づく、「ICTを活用した健康づくり事業」における令和4年度の取組」として、「ア 健康づくりに関するアンケート調査について」事務局からご説明よろしくお願いいたします。

(事務局「資料4 健康づくりに関するアンケート調査の結果について」説明)

【会長】 それでは、健康づくりに関するアンケート調査結果についての説明がございましたけれども、これらについて、ご質問ご意見等はございますでしょうか。

【____委員】 ____と申します。このアンケートを作成するにあたって、どのようなメンバーで作成されたのでしょうか。

【執行機関】 アンケートにつきましては、水戸市を中心に連携市町村9市町村で修正を重ねて作りました。

【____委員】 アンケートの問21 どのようなサポートが望ましいかという問いなのですが、「1 機会の拡大」に括弧書きがありまして、「ショッピングモールなど」という「など」にはどのようなものが含まれますか。

【執行機関】 「ショッピングモールなど」は民間の方が商業施設等で気軽に受けられる、そういう環境を想定して、「ショッピングモールなど」という表現で、設問を設定させていただいております。

【____委員】 ショッピングモールある地域はいいと思うのですが、ショッピングモールのない地域の人がこの設問を見てどういうイメージがつくかっていうことが大事だと

思うのです。これからこういうアンケートを何回か作られるかもしれませんが、「ショッピングモールなど」という言葉「など」で、処理することなく、別に2行になっても3行になってもいいと思うのですよ。イメージが沸くようなアンケートじゃないと正しい数字が出ないと思います。例えば学校の体育館とか、そういうことでもいいのかもしれませんがね。具体的なイメージが沸くようなことが大切だと私は考えますので、よろしくお願いします。

【執行機関】 今後の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

【会 長】 他いかがでしょうか。

【___委員】 ___でございます。今回のアンケート調査で、ちょっと設問に関して疑問がございましたので、お聞きしたいと思います。問11です。「定期的に歯の健康のために行っていることは何ですか？」という問で、「歯科検診を受けている」それから、マウスウォッシュや糸付きようじやキシリトール、歯みがきをするというふうな設問がありますけど、すべて回答される方って、もう要は100%の数値化する意味を持たないのではないかと思います。要は、例えば歯科検診を受けているか受けてないかいというふうな設問に対して、なぜその方が受ないのでしょうかという話とか、あとは具体的な方法論もございまして、方法論に関しましても、確かに有効性があるというふうな、この学識的な見解もございしますが、まだまだ周辺住民の皆様を対象とした質問に関しては、ちょっと不適當ではないかというふうに思います。なので、その辺に関しては事務局の方がどのような考えでこの設問をされたのかということをお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

【執行機関】 今回歯科の健康というところで設問を設定するに当たりまして、一般的に考えられるような健康的な取組を1問だけ設定をさせていただきました。

【___委員】 具体例に関しましては、今後の歯科に関するアンケート調査をおそらくされていくと思いますが、まずは歯科検診を受けているかいないかというそれだけでよろしかったのではないかと思いますので、以後その辺を調査の対象として色々はつきりされるように要望したいと思います。以上です。

【執行機関】 ありがとうございました。

【___委員】 ___です。このアンケートは幅広く年齢層を分けているので、18歳から特定健診、75歳未満までということになっていると思うのですが、例えば18歳19歳だと健診100%となっていて学校健診を受けている、学校でやらなきゃいけないというのがあるのですが、「健診」という文字が、学校健診だったり特定健診だったり人間ドックだったりということで、私たちが一般的に「健診」と考えるものとちょっと差があるのかなって思ったのと、例えばがん検診については18歳受けてないのは当たり前なので、必要ないろんな対象とか違うのでこれを一緒にくたに結果としてしまうのは無理があるかなと思います。

【執行機関】 ご意見にありましており、がん検診での対象年齢は、がん検診のガイドラインが決まっております、それに沿ってないような設問ですので、乱暴な部分があったと思います。以後注意いたします。ありがとうございました。

【会 長】 他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。分析については、おそらくまだ不十分なところもあると思うのですが、今後また詳細に分析を進めていただいて、ぜひ実効性のあるデータをご用意していただければと思います。

それでは次に進ませていただきます。それでは議事「(2) イ 茨城県央地域ウエルネス推進協議会」について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局「資料5 茨城県央地域ウエルネス推進協議会について」説明)

【会 長】 ただいま事務局から、茨城県央地域ウエルネス推進協議会についての説明がありました。これについて、ご質問ご意見等ございますでしょうか。

【___委員】 企業を選定して、情報を集めるとのことですが、その企業は何件くらいの予定でしょうか。

【執行機関】 内容にもよりますが、年に1回は社会実験を実施して参りたいと考えております。現在「株式会社官民連携事業研究所」という一般企業と相談しておりまして、当協議会でできそうな社会実験等をご紹介いただく予定でございます。

【___委員】 ということは、相手は1件ということですか。

【執行機関】 複数紹介があった場合はその中からいくつか実施するようになりますが、初年度になりますので、まずは1件からと考えております。

【___委員】 やっぱ最低でも2件くらい、相対するものがないと比較にならないので、それぞれ得意分野ってものがあるはずなのですよ。1件だとやっぱり狭いと思うので、もう1件くらい選んだほうがいいと思うのですが。もう完全にそういう1件しかないって、選定してないってことですよ、初年度は。何件かあってそれぞれ選ぶということじゃなくて、1件から選ぶということなのですね。

【執行機関】 何件かのうちから1件と考えていたのですが、まだこの事業自体も上がってきていない状況ですので、複数実施した方がいいというご意見を本日伺いましたので、今後担当者部会の中でどのように社会実験を実施していくか、単独でやるのか複数やるのか検討していきたいと思います。

【___委員】 民間企業のICTを活用した質の高いシステムやサービスということを選ぶわけですよ。それで実験をするわけですよ。とにかく私はそれが気がかりで。よろしくお願いいたします。

【会 長】 他いかがでしょうか。ぜひとも本日の会議のメインでございますので、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

【___委員】 ___でございます。あくまでも参考にお伺いしたいのですが、実際今日いろいろお話聞いたのですが、具体的なものが我々、私は全然見えてこない中で、今事務局の方から今後の取組で会社っていうか民間企業の方に、ご提案いただくっていう話があったと思うのですが、会社というのは、例えばコンサル的な位置にいる方がいて、社会実験の細かいものは例えばプロポーザル方式でいろんな企業から提案をもらうとかそういう方式をとっているのか、それともそ

の今おっしゃった、1社のところがいろんな提案をする中で選ぶのか、その辺の方向性を教えていただきたいと思います。

【執行機関】 先ほどの説明がちょっと足りませんでした。「官民連携事業研究所」というのは、社会実験をする民間企業とのマッチングをしてくれる企業ですので、相手先は複数ございます。我々の協議会で実施していける社会実験をその中から、いくつかご紹介をいただく予定でございます。

【___委員】 ありがとうございました。

【会 長】 よろしいでしょうか。なかなかまだイメージがつかみづらい部分もあると思うのですけれども、ぜひ率直なといいますか、素朴な疑問でもよろしいですので、今のうちにぜひご質問いただければと思います。

【___委員】 ___と申します。国保連合会は、市町村の国民健康保険被保険者の方の市町村が実施する被保険者の方への健康支援なんかに今力を入れておまして、たまたまです。今日午前中に、ベンチャー企業さんでやっぱりこういうICTを使った健康寿命の延伸みたいな打合せをさせていただいて、令和4年度はその業者さんでやった場合は、随意契約でやったのですが、随意契約の理由は、全国で自治体が1700くらいあって、そのうち700ぐらい施策の実施があるということで、令和4年度やったのですけれども、令和5年度については、やっぱりプロポーザルでやったほうがいいのではないかっていう意見が内部でございました。それもたまたまなのですけれども、ICTを活用してやっていきたいと思いますという話になって、今で言うと、LINEを使って何かできないかとか、そういうことの議論を午前中にさせていただいて、これと似たような形になるのかなと思いました。

令和4年度は、参考にひたちなか市さんと共同させていただいて、特定健診の受診率向上ということで、ショートメールサービスを使って、特定健診を受けましょうということで実施をさせていただいて、分析をして、若干効果があったというような報告をいただいています。

こういうICTを活用したウエルネスっていうのは非常に大切だと思うので、せっかく実証実験やるのであれば、やはりいい実験をしていただければなというふうに思っています。以上です。

【会 長】 他いかがでしょうか。

【___委員】 ___と申します。今日はですね、ここの中に学識経験者、それから医療関係団体、その他の団体ということで、お集まりいただいていると思うのですけれども、我々はですね、またこの次の会議となるとまた半年後になってしまいますよね。3つの団体が一つになって動いていかないと、大きな波がつかれないと思うのです。その辺をどういうふうにお考えになっているのか。私の場合はたまたま茨城町ウォーキングの会会長となっておりますけれども、実際には「一般社団法人日本ウォーキング協会 公認指導員」、それと茨城県におきましては「NPO 法人茨城県ウォーキング協会 公認指導員」、そして最後にこの茨城町ウォーキング協会ですけれども、一つ横に行動しているのです。やはりウォーキングの普

及とかになるときに、非常に役立っているのですよね。今日皆さん集まっていますのですけれども、その三つの団体がどういう形で横一つ繋がって大きな波をですね、それぞれの人が心身ともに健康で生き生きと生活できる社会の実現となっていると思うのですけれども、これにはやっぱり大きな波を作っていかなくちゃいけないと思うのですけれども、その辺にどういうふうな対応をしていただけるのかちょっとお聞きしたいと思います。

【会 長】 では、事務局の方から回答いただいて大丈夫ですか。

【執行機関】 ご意見いただきましてありがとうございます。やはりこの社会実験を行っていく上で、事業者選定、何に取り組んでいくのかというのがとても重要だと思います。先ほど事務局の方からその選定のやり方の一例をお示しさせていただきましたが、本日お集まりいただいた委員の皆様、それぞれの団体に所属していらっしゃる、あるいはいろんな専門性の知識を備えたり、いろんな経験もございます。我々は決してその事務局だけが先行して進めていこうというふうには考えておりませんで、今日の会議資料の中にも「意見書」というものを配らせていただいております。委員の皆様のご意見が最も大事だと思っていますので、そういった意見を一つひとつ拾って、今日は後ろの方にも9市町村の職員も、出席しておりますが、いろんなものを検討させていただいて、先ほど委員からもちょっと一つでは足りないという意見もございました。時間的な制約もございますが、いろんなご意見を踏まえて事務方の方で検討させていただいて、委員の皆様の方にもフィードバックさせていただきたいというふうに考えておりますので、今後ともいろんなご意見をいただければと思っています。

【会 長】 ありがとうございます。おそらくですね、まず社会実験のこういった取組が出てくるのかっていうのが、まだちょっと見えない段階なのでなかなかイメージがつきづらいと思うのですけれども、それが具体的にこう見えてきた段階で、おそらくそれぞれの今いらっしゃる委員の先生方の、専門的な見地からいろんなアドバイスを、いただくような形になると思うのですね。

そういった形で、実務担当者部会と協議会で連携しながら進めていくっていうような形になると思うのですが。だんだん時間も押し迫ったのですけれども。

【____委員】 今回の推進協議会の設置に携わられた方々、水戸市を中心とした9市町が一緒になって広域に健康づくりを推進していきましようということで、素晴らしい取組だと思います。ただし方向性が何となくこうぼやけている気がしているのは、やっぱり各地域にお住まいの住民の方たちの一体どこをターゲットにまず取り組んでいくか。全世代というか、乳幼児から高齢者までを含めた全世代を対象としているのか、または例えば、成人分野とか高齢者事業とかいう形で取り入れていくのか、そこら辺のビジョンが全く頭の中に浮かばないですね。そこら辺のまず取りかかりを事務局の方で、ある程度説明していただいて、その中で、我々が協議してだったらよかったかなと私は思いました。以上です。

【執行機関】 ありがとうございます。

【会 長】 それでは時間も差し迫ってきましたので、最後にご発言なさりたい方いらっしゃるか。いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、今後の予定等を含めまして、その他ということで事務局から何かございますでしょうか。

【執行機関】 それでは事務局から、次回の日程等についてご説明いたします。次回日程は先ほどお話がありました通り、令和5年の5月頃の開催を予定させていただきます。

それとは別なのですが、事務手続き上の話ですが、支払調書作成の関係で、マイナンバーカードの写しが必要となりまして、明日関係書類を郵送いたしますので、届きましたらご返送のほうご協力をお願いいたします。

次回の日程等について、以上となります。

【会 長】 ありがとうございます。ただいま説明がございましたけれども、今回は来年の5月ということになります。よろしくお願いいたします。また本日の内容に関わらず、ご不明な点やご意見等がございましたら、先ほどご説明がありました意見書、あるいはそれ以外の方法等でも構わないと思いますので、ぜひ事務局の方にご連絡をよろしくお願いいたします。

それでは本日の私の進行はここまでとさせていただきます。事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

【執行機関】 長時間にわたりご審議をいただきまして、ありがとうございます。以上をもちまして、第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。